

平成28年度 第35回 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会  
 (ミニバスケットボール競技)茨城県予選大会男子決勝戦評

チーム名		13		13		チーム名
茨大付属	50	7	VS	8	46	菅谷東
		13		10		
		17		15		

1Q  
 ジャンプボールルーズを青が頑張り、青ボールにてゲームスタート。  
 互いにハーフマンツーマンで始まり、白⑤のディフェンスリバウンドからのゴール下にて先取点。  
 しかしすぐさま青⑦カットインにて同点とする。  
 白はセンター⑤のポストプレーを中心に、青は④、⑦のミドルシュートやウイークサイドを狙ったドライブから互いに効果的に得点を重ねる。  
 中盤、白⑤のブロックショットと、ターンオーバーから速攻にて連続得点し引き離そうとするも、青も好機を確実に得点に繋げ一進一退の攻防が続く。  
 ノータイムには、青④がバックコートからドリブルで抜け出し、センターラインを越えたところからロングシュートを放ち、ブザービートとなり1Qは13対13の同点にて終える。

2Q  
 青ボールスタートから⑤の鮮やかなミドルシュートにて2Qで先制。  
 対する白は⑥⑦によるリバウンドからの速攻が効果的に決まる。  
 青も負けじと⑤の巧みなドリブルからカットインを仕掛け1Qに続きシーソーゲームの展開となる。  
 中盤、互いに気合いの入ったディフェンスを見せ、約2分間両チームともノーゴールの我慢の時間帯に。  
 たまらず青ベンチがタイムアウトを要求。  
 青のタイムアウト明けから青⑥のカットインにて仕掛け、一気に流れを呼び込むプレーでチームのムードが上がる。  
 しかし、白は⑦のリバウンドの強みを生かし、速攻にて⑥が連続得点。  
 終盤、激しい攻防が繰り広げられ、ラストプレーで、青⑤ドライブから得点し、青1点リードで前半終了。

3Q  
 1点差を追う、白ボールで後半スタート。  
 白⑦がカットインからの、白⑤ヘナイスアシストで白先制。  
 青は⑤⑦の1対1からのシュートを確実に決め、白も⑤のポストプレーを中心とした堅実な攻めで互いに得点を重ねる。  
 前半同様、激しい応酬が繰り広げられるが、終盤青のドライブからのシュートがリングに嫌われ始めるも、残り30秒青⑦のミドルにて同点。  
 ノータイムから、白⑤が中央から切り崩しレイアップが決まり、白2点リードで3Qを終了。

4Q  
 2点差を追う青は⑦がミドルを幸先良く決め、すんなり同点とする。  
 対する白も⑤⑦の高さでリバウンドを制し、ボール保持を優位に進め、ポストプレーを中心に連続得点で引き離そうとする。  
 ここから青も④のドライブからのバスケットカウントを獲得し、3点プレーにて勢いを取り戻す。  
 更にオールコートマンツーマンで積極的にスチールを狙い、足を使ったDFからの速攻で粘りを随所に見せる。  
 残り2分、白2点リードの手に汗を握る展開。  
 終盤、リバウンドルーズを支配する白が確実に得点を重ね、足で頑張る青を突き放し試合終了。  
 茨大付属が地区予選4位からの下剋上で、夏の栄冠を獲得。  
 チームカラーを互いに発揮し、県大会決勝に相応しい緊張感のある好ゲームであった。  
 攻守に高さを存分に生かし優勝した茨大付属には茨城県代表として関東大会での健闘を祈りたい。  
 またスピードを武器に、一步も引かずチーム一丸となり終始足でディフェンスを頑張り続けた菅谷東の姿勢にも会場全体から大きな拍手が送られた。

(戦評) (関東地区) 小嶋 幸司